

〔法人の概要〕

① 団 体 名	(公財) 栃木県民公園福祉協会						
② 設 立 年 月 日	昭和47年10月17日			③ 代 表 者	理事長 熊倉 一臣		
④ 所 在 地 等	宇都宮市西川田4-1-1			電話 028-659-5868			
⑤ 設 立 目 的 事 業 内 容	都市公園において遊園地、プール、体育、文化施設及び都市緑化に関する事業を行うことをとおして、県民生活に安らぎと潤いをもたらし、県民福祉の増進に寄与することを目的とする。 ①都市公園の管理運営及び利用促進に関する事業 ②都市緑化の推進及び普及啓発に関する事業 ③前項に関する付帯事業及びその関連事業						
⑥ 基本財産 (資本)	総額 (内訳) 栃木県出資額 〇〇市(町)出資額 その他			3,000千円 <u>3,000千円 (100%)</u> _____(%) _____(%)			
⑦ 役職員数	県OB	県派遣	県現職	他団体等	専 任	合 計	
理事							
常 勤	2					2	
非常勤	2	1	1	2		6	
監事							
常 勤						0	
非常勤			1	1		2	
職員							
常 勤	7	(1)	非常勤理事兼務		56	63	
非常勤					23	23	
臨 時						0	
⑧ 常勤職員の 年齢構成	～20代	30代	40代	50代	60代～	平均年齢	
	3	9	14	18	19	52	

〔主な事業の事業費・概要等〕 (千円、%)

事業名		R4	R5	事業概要
事業 1	公益目的事業	1,194,326	1,220,770	・都市公園管理事業
		86%	86%	・緑化推進事業
事業 2	収益事業等	182,542	183,209	・遊戯施設等事業
		13%	13%	・販売事業
事業 3	法人会計	14,943	14,343	・法人の運営
		1%	1%	
全体事業		1,391,811	1,418,322	

令和6年7月1日現在

〈 (公財) 栃木県民公園福祉協会 から県民のみなさまへ 〉

私たちは、50年間という長い期間をかけて培ってきた豊富な経験と高度な専門知識を活かして、引き続き、時代のニーズを的確に反映した新たな都市公園の管理運営にチャレンジしていくとともに、目標とする「喜ばれ、愛され、親しまれる公園づくり」の実現に向け最大限の努力をして参ります。

令和6年7月 理事長 熊倉一臣

〔情報公開〕

HP	URL : https://www.park-tochigi.com
その他 (情報誌・SNS)	

〔監査等結果〕

名称	実施年月日	結果
事業報告等、財務諸表等の監査	令和6年5月24日	適正
財政的援助団体監査	令和3年12月23日	適正

〔その他特記事項〕

(市町その他との連携・業務効率化のためのICT活用など)
市町と公園を拠点とした周辺エリアの活性化や魅力向上に努めている。
キャッシュレス化やリモート会議を実施している。

〔財務指標〕

		R3	R4	R5
自己資本比率	正味財産合計/資産合計×100	60.8	68.7	74.9
流動比率	流動資産合計/流動負債合計×100	195.6	251.3	323.5
有利子負債依存度	有利子負債/資産合計×100	0.0	0.0	0.0
管理費比率	管理費/経常費用計×100	1.2	1.1	1.0
人件費比率	人件費/経常費用計×100	54.6	51.4	51.9
独立採算度	(経常収益計+経常外収益計-県からの補助金収入)/(経常費用計+経常外費用計)×100	98.7	104.4	111.8

[収支決算書（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）] (単位：円)

収入の部		支出の部	
公益目的事業会計	1,703,575,804	公益目的事業会計	1,686,669,278
収益事業等会計	256,530,771	収益事業等会計	245,456,610
法人会計	14,000,253	法人会計	14,077,281
当期収入合計（A）	1,974,106,828	当期支出合計（C）	1,946,203,169
前期繰越収支差額	357,336,361	当期収支差額（A-C）	27,903,659
収入合計（B）	2,331,443,189	次期繰越収支差額（B-C）	385,240,020

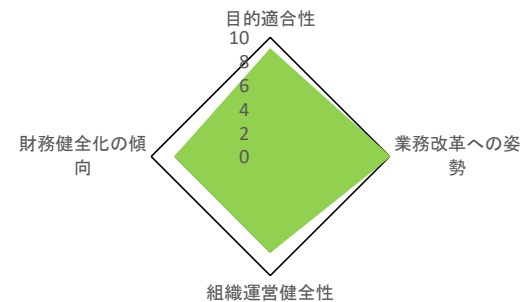
[貸借対照表（令和6年3月31日現在）] (単位：円)

資産の部		負債及び正味財産の部	
流動資産		流動負債	
現金預金	480,925,883	未払金	133,964,264
未収金	53,593,634	未払法人税	12,558,100
前払金	1,734,799	前受金	65,800
仮払金	1,665,896	預り金	6,102,028
商品等	14,865,227	仮受金	0
貯蔵品	5,910,148	賞与引当金	19,990,787
立替金	10,000	固定負債	
固定資産		退職給付引当金	217,987,692
基本財産	3,000,000		
特定資産	493,785,705		
その他の固定資産	498,785,124		
		負債合計	390,668,671
		正味財産	1,163,607,745
		（うち指定正味財産）	(3,000,000)
		（うち一般正味財産）	(1,160,607,745)
		正味財産合計	1,163,607,745
資産合計	1,554,276,416	負債及び正味財産合計	1,554,276,416

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
目的適合性	5	9	10	90%
業務改革への姿勢	5	10	10	100%
組織運営健全性	5	8	10	80%
財務健全化の傾向	5	8	10	80%
合計	20	35	40	88%

運営評価レーダーチャート



目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
業務改革への姿勢	法人経営の方針や事業の実施目標等を設定し、それらに沿った運営を行っているか等
組織運営健全性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
財務健全化の傾向	法人の財務状況が健全化傾向にあるか（前々年度・前年度の平均値と比較）

[自己評価]

前年度の法人運営についての自己評価（振り返り）	公益財団法人として利用者に「喜ばれ、愛され、親しまれる公園」を目標に、公益目的事業及び収益事業を展開し、県営都市公園の利用促進に役職員一丸となって取り組んだ。コロナ禍前の利用者数・収入を回復することを目標に事業を推進した。6公園の利用者数は令和4年度を0.5%上回ることができた。		
事業実施上の課題 （主に目的適合性・業務改革の姿勢の評価を基に作成）	市町や地域住民、民間企業等と連携をより一層強化し、地域一体となった事業で公園を拠点とする地域の魅力・利用価値向上に貢献する。		
組織・財務上の課題 （主に組織運営健全性・財務健全化の傾向の評価を基に作成）	組織、人事、財務等の内部管理、体制は適切に整備・運用されており、かつ情報公開による透明性の確保を適切に行った。 しかし、公募による指定管理業務が中心であるため、安定的な収入はまだ十分でないと考えている。		
県現職派遣の理由、必要性の評価	プロパーの人材不足。		
課題に対する今後の取組の方向性	多様化する県民ニーズに応えるとともに、誰もが安心して快適に過ごせるよう、地域の実情に応じた、魅力あふれる公園を目指す。 市町や民間企業との連携を図る。		
得点率の推移	R4	R5	R6
	90%	88%	—

〔所管部局評価〕

政策目標		地域の魅力や資源を生かした地域の活性化を図るため、快適で魅力にあふれる都市公園づくりを推進する。	
の 県 役 と 割 法 分 人	県の役割	都市公園の魅力向上、都市公園を中心としたエリアの地域振興の促進。	
	法人に期待する役割	都市公園の適正な管理、地元や周辺施設等との連携、及び各公園の特色を活かした取組の実施。	
財 政 （ 千 支 円 ） 状 況	区分	令和6年度予算額	令和5年度決算額
	補助・交付金	0	4,741
	委託料	670,335	631,736
	貸付金		
	その他		
	計	670,335	636,477

施設名	管理運営状況評価(R4)			
	A	B	C	D
栃木県井頭公園		21	1	
栃木県那須野が原公園		22		
栃木県みかも山公園		22		
栃木県日光田母沢御用邸記念公園		22		
栃木県とちぎわんぱく公園		22		

役割の 期待 する 状況	事業概要	効果測定指標	R5 目標値	実績			R5 達成率	効果測 定
				R3	R4	R5		
県が期待する	都市公園の管理運営及び利用促進に関する事業	公園利用者数（万人）	390	346	380	382	98%	B

法人の自己評価に対する意見 ・都市公園の適正な管理を行うとともに、利用者ニーズの把握に努め、また、地元や周辺施設等との情報・意見交換を積極的に行い各公園の特色を活かした取組を実施するなど、各公園の利用促進を図っている。 ・いがしらリゾート活性化協議会において、井頭温泉等の近隣施設、真岡市等の関係機関と連携し、活性化対策等の検討を進めるとともに、いがしらリゾートとしてのイベントを実施し、地域の魅力創出に貢献している。 ・指定管理業務以外にも、遊園地事業、プール事業ほか多くの自主事業で、豊富な経験と高度な専門知識を活かした取組を実施し、公園の魅力向上や地域振興に大きく寄与している。 ・R5は特にとちぎわんぱく公園内に自主事業により「大恐竜パーク」を新設し、公園利用者数の増加に繋げるとともに、地域振興に大きく貢献している。 ・公園利用者数は、R5は目標値には達しなかったものの前年度比で0.5%増加し、R3以降、年々増加を見せている。	
県が期待する役割の達成	A

今後の連携・見直し方針	引き続き都市公園の魅力向上や地域の活性化に向けた取組を実施するとともに、より安定的な財源確保のため、市町や民間企業等の連携、及びイベントの積極的な実施等により更なる利用者増・収入増を図るよう指導する。
-------------	--

〔総合評価〕

〔R4行革委員会報告書（個別法人に対する評価等・継続検討項目以外）〕

A	総合的所見	利用者のニーズ把握や関係機関との情報交換等を積極的に実施し、各公園の特色を活かした取組を実施しており、公園利用者数及び経常収益は前年度に引き続き増加している。今後も施設利用者の要望等を踏まえた魅力的な公園づくりに取り組むとともに、自主財源の更なる確保策についても検討されたい。 ➤見直し方針に対して順調に対応してきたが、自主財源の確保の観点から、協会所有の施設について更なる利用者確保に向けた取組を行うとともに、老朽化した設備について計画的に更新・修繕を行う必要がある。
	指摘事項	